

# 総会内容

<b>1.開会</b>	担当:高橋遥
団体総数17団体中12団体出席(委任による参加7団体含む)により「第1回北海道学生研究会SCAN総会(以下、本総会と称す)」を開催。	
<b>2.代表挨拶</b>	担当:小向竜貴
今まで釧路のみで行われていた北海道学生研究会SCAN(以下、SCANと称す)の活動・運営を開けたものにしていきたいと表明。全体の意見が反映される総会が今後続いてゆくことを望んだ。	
<b>3.顧問挨拶</b>	担当:下山朗 准教授
規模の大きくなったSCANに関し、代表の決定や代表の意思決定に関して全道規模で行ってゆくべきではないかと思ひ推奨した初の総会。不備の多い中進めた1歩を入り口として、今後皆で整えてゆければという意志を明らかに顧問の挨拶としていただいた。	
<b>4.議長選任</b>	担当:高橋遥
本総会事務局より、「第4期北海道学生研究会SCAN運営委員」渡部貴将を推薦。異議の有無を出席者からの拍手で確認し、選任した。	
<b>5.議長就任挨拶</b>	担当:渡部貴将
釧路公立大学下山ゼミ所属の渡部貴将。総会の円滑な進行を進められるように協力を仰いだ。	
<b>6.活動報告</b>	昨年度活動報告:小向竜貴 昨年度会計報告:平川晶子
第4期北海道学生研究会SCANが開催・参加した活動についての報告、及びそれらに関する収支決算が提示された。活動に関して、目的や結果の伴った報告であったために今後の課題や目標が浮き彫りとなった。	
<b>7.議事</b>	担当:西内辰大
議長による本総会における議決権の説明の後、本総会事務局の西内辰大より第1号議案と第2号議案の提案がなされた。第1号議案は北海道学生研究会SCAN規約について。SCANに存在していなかった規約を明文化し、提示。議長が質疑応答をとった後、採決。賛成12票、反対0票(委任による賛成7票を含む)により承認された。第2号議案は第5期SCAN代表の選出・承認について。前もってSCAN参加団体に送付した資料にあった通り、事務局に届け出のあった候補者1名を事務局より報告。議長が質疑応答をとった後、採決。賛成12票、反対0票(委任による賛成7票を含む)により、釧路公立大学経済学部経済学科下山ゼミ所属の「苅間沢祐太」が代表として承認された。	
<b>8.議長解任</b>	担当:渡部貴将
すべての審議が終了し、議長は解任された。	
<b>9.新代表挨拶</b>	担当:苅間沢祐太
会員の総意により承認された代表による所信表明。歴代の代表・運営により積み上げられたものをムダにしないように任期を全うすること。本代表はSCANという組織を2つの目線から捉えている。1つに学生が企業・地域や企業に自らが考え出した地方に内在する問題を提起し、発信していく機会創造してゆく組織であること。もう1つに学生・企業・地域という3者のつながりを強くしてゆく組織であることだ。現在道内各地の大学だけではなく、道外の大学が参加するなどして活動しているSCANであるが、その影響力にも幅が出てきたことは確か。その影響力の繁栄のために苅間沢代表は、さまざまな意見交流が存在する風通しの良い運営組織づくり、参加大学数や認知度の拡大に尽力する所存だ。また本団体に参加する学生が充実感をもってSCANの活動を修学できるようにもしていきたいと今期の思いを明言。運営側にとっても魅力的な組織にすると表明し学生によるSCAN運営・参画を促した。	
<b>10.閉会</b>	担当:高橋遥
以上をもって、第1回北海道学生研究会SCAN総会が閉会された。	